

# 陶磁器型材用石膏の混水量とは

混水量＝焼石膏100gを混ぜる水の量

例：焼石膏100gを水70gと練るなら

混水量70%

ただし、焼石膏100gが硬化するのに

必要な水の量は18.6g

$70\text{g} - 18.6\text{g} = 51.4\text{g}$ 流動性のための水

# 石膏の性能を決める混水量とは

混水量 = 2水石膏となる水と流動性のための水

石膏型(形を造る)

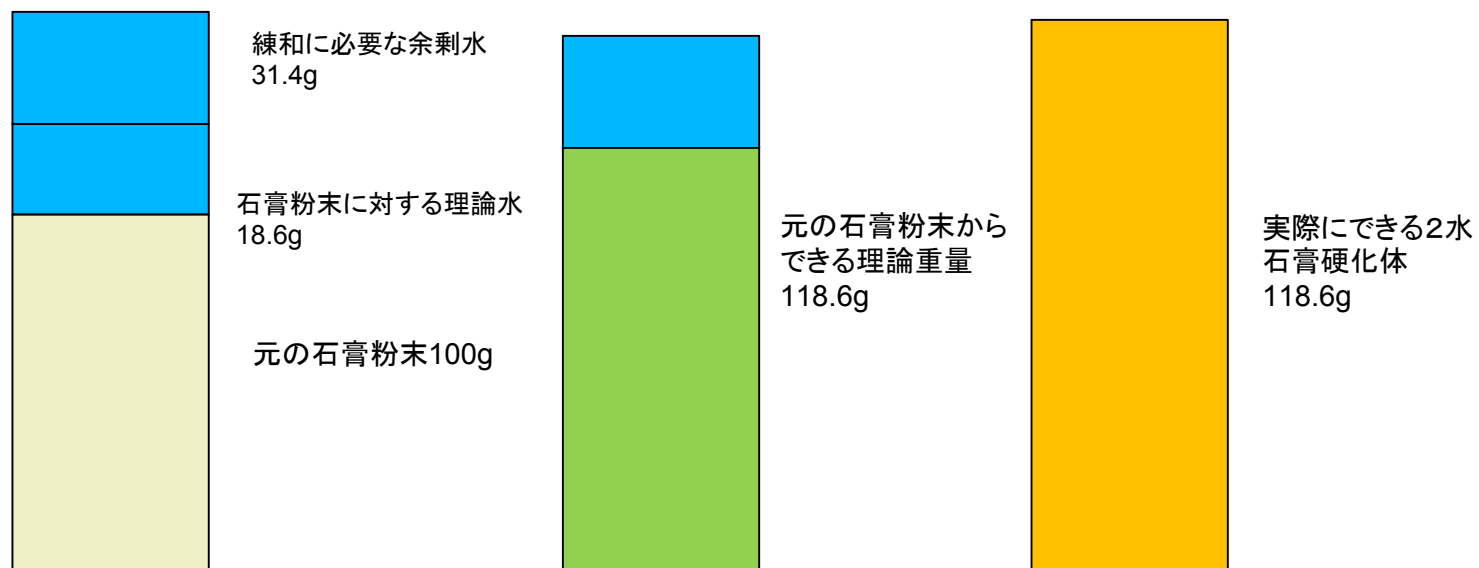
+

流動性のための水が隙間となって吸水性発揮



陶磁器型材用石膏

## 混水量50%の石膏硬化体の空隙とは



石膏硬化体の空隙は、陶磁器用石膏が粘土の成形に最も必要な吸水性能を持たせている。